

古くは人気テレビ番組の公開録画会場として、近年では日本有数のコンサートホールとして、高い知名度を誇る渋谷公会堂が、築50年を契機に新築リニューアル。区民イベントから、多彩な持ち込み機材を使用する大規模なコンサートまで、幅広いプログラムに対応可能な照明インフラを実現しています。

渋谷公会堂の開業は1964年。同年東京オリンピックのウエイトリフティング競技会場として使用され、1980年代以降はJ-POP、ロックの殿堂「渋谷」公として広く知られる、日本有数のホールです。2006年の改修工事を経て、2013年に渋谷区議会において老朽化による建て替えが決定。ネーミングライツによる新名称「LINE CUBE SHIBUYA 渋谷公会堂」として生まれ変わり、2019年10月にこけら落としが行われます。



【物件概要】

所在地：渋谷区宇田川町1番1号
 延床面積：延床面積：9,712.89㎡
 収納人員：1,956人（オーケストラピット126席含む）
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造・地上6階、地下2階、塔屋1階
 建築主：三井不動産レジデンシャル
 設計・監理：日本設計
 デザイン監修：ホシノアーキテクト
 施工：東急建設
 開館：2019年10月

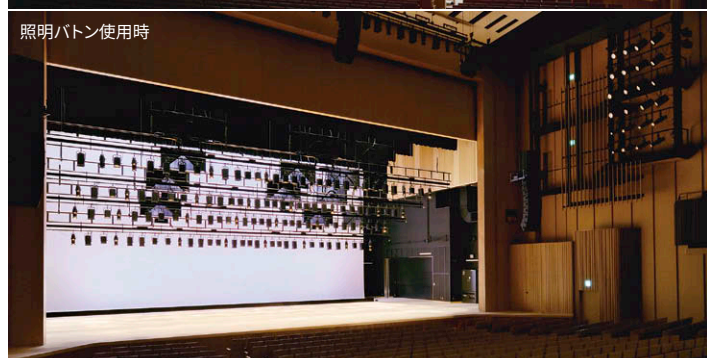
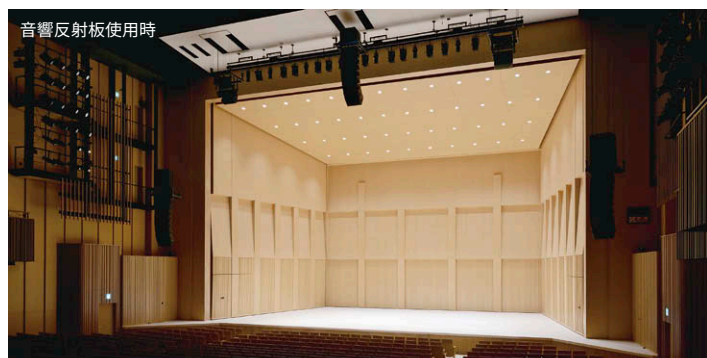
S520

最新の照明演出にも対応するハイスペックな照明インフラと、親しみやすい常設設備。

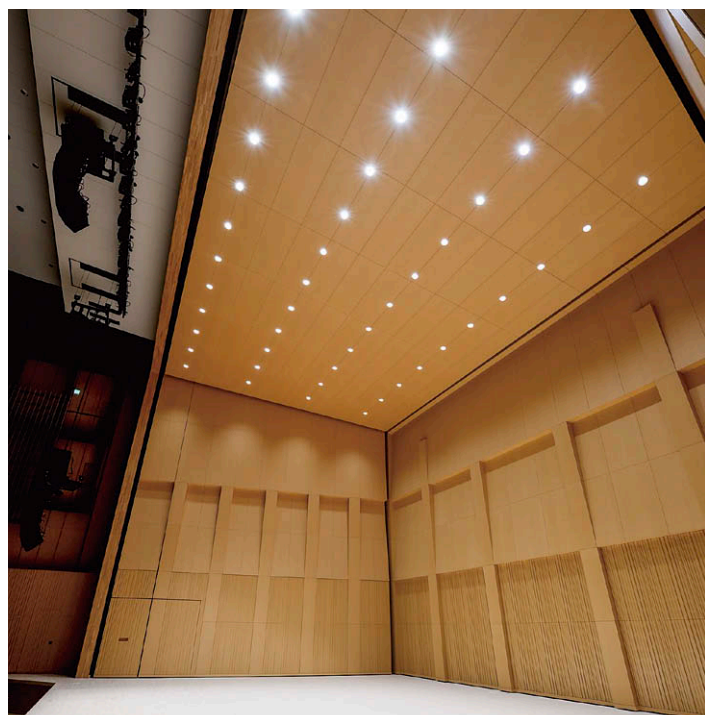
新しい渋谷公会堂のステージは、舞台開口 W19.1m × H9m ~ H12m、奥行13m。照明パトンはステージ幅サイズで、ボーダー2本、サスペンション4本、水平1本、さらに客席側にも、ステージを前方から照射できるようにサスペンションパトンを1本配置。舞台袖には、積載量3,500kgの搬入出力フットや持ち込照明機器用分電盤も備え、大規模なコンサートの照明演出にも十分に対応可能なスペックを有しています。

常設照明器具には、舞台用、シーリングスポットライトともに、ハロゲン器具のALスポットライトシリーズを採用。渋谷区民のためのイベン

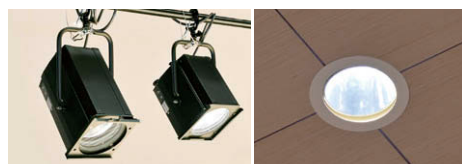
トや、定例開催される市民オペラなどの利用もふまえた使いやすいスペックとしています。水平ライトはフルカラー5色タイプのLED水平ライトとし、多彩なカラー表現の利便性と省エネ性を高めています。また、音響反射板には、平均演色評価数Ra95のLEDシアターシリーズダウンライトを採用し、1,000ルクス以上の明るさを確保。調光モード(3000K ~ 1800K)設定でハロゲン器具と同等の演出が可能となり譜面なども見やすい光環境と省エネを両立させています。



ステージ LEDシアターシリーズダウンライト⑧を採用した音響反射板。(上)
 ALスポットライト①~⑤がセットされたサスペンションパトン。(下)



ステージ上から見上げる音響反射板
 LEDシアターシリーズダウンライト⑧により十分な明るさを確保。



ALスポットライト
 非球面平凸レンズ
 1kW 低騒音形・500W

LEDシアターシリーズ
 ダウンライト

主な掲載器具一覧

設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
サスペンション、 フロントサイド、 スポット室、他	① ALスポットライト 500W 非球面平凸レンズ	AL-AQS-5R	10	ハロゲン 500W
	② ALスポットライト 1kW 非球面平凸レンズ 低騒音形	AL-AQS-10R-3	84	ハロゲン 1kW
	③ ALスポットライト 1.5kW 非球面平凸レンズ 低騒音形	AL-AQS-15R-3	68	ハロゲン 1.5kW
	④ ALスポットライト 500W フレネルレンズ	AL-AQF-5R	10	ハロゲン 500W
ステージ	⑤ ALスポットライト 1kW フレネルレンズ	AL-AQF-10R-2	56	ハロゲン 1kW
	⑥ LED水平ライト5色タイプ(アッパー)	AL-LED-UH-5-C	26	LED 消費電力：140W
音響反射板	⑦ LED水平ライト5色タイプ(ロー)	AL-LED-LH-L-5	26	LED 消費電力：140W
	⑧ LEDシアターシリーズダウンライト	AL-LED-TDL-L	46	LED 消費電力：91.5W
照明操作室	⑨ 調光操作卓	LICSTAR-4SC	1式	